

## 関西支部報告

### 平成 28 年度共晶会関西支部活動報告

関西支部では毎年 3 月第二土曜日の午後到大阪市内で支部総会と懇親会を開催しています。今年度は、3 月 11 日土曜日 11 時より名古屋より、佐野 正道名誉教授、平澤 政廣教授のお二人をお迎えし、大阪・梅田の「阪急ターミナルスクエア 17」で開催されました。阪急ターミナルスクエアでの開催は 4 年目です。

佐野 先生からは「インジェクション・メタラジー」とくに、微細気泡と機械攪拌への熱い思いと、現在の家庭菜園に関する楽しい話題をお話しいただきました。また、平澤 先生からは、金属工学・鉄鋼工学科の懐かしい歴史をご紹介いただき、とともに平成 29 年 4 月「名古屋大学工学部・工学研究会の改組」の内容をご説明いただきました。

プログラム後半では、参加者の近況報告があり、総勢 38 名にて時間がタイトではありましたが、和気あいあいとしたひとときを過ごすことができました。

とくに、今回は、幹事の佐野 幹事が若人の要となり、受付、ホテルとの調整、パソコン準備、プロジェクター準備、カメラ係りをご準備いただき、全体的に滞りなくすすめられたことに感謝致します。

また、樽谷 副支部長より 5 月 20 日（土）名古屋大学全学同窓会関西支部第 12 回総会のご案内があり、名大の多分野とのコミュニケーションの楽しさをご案内いただきましたのでぜひ、全学同窓会にもご参加のほどお願い致します。

来年におきましても平成 30 年 3 月の第 2 土曜日に開催を予定しておりますので、本部のご配慮、ご支援のほどをよろしくお願い致します。本年より、共晶会の支部長を樽谷様から引き継ぎました。2 年間、関西支部活動を会員の皆様と一緒に盛り上げて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

共晶会関西支部長 松井良行



# 平成28年度共晶会関東支部活動報告

平成28年度共晶会関東支部総会には名古屋大学から村田純教教授をお招きする事が出来ました。細井先生は少し足が重そうでしたがお元気な姿を見せていただき、同窓生を含め全部で17名の方が参加されました。村田先生は1975年名古屋工業大学金属学科を卒業し、1980年工学研究科博士課程を終えられ、その後、豊橋技術科学大学を經由して名古屋大学に戻られた後、工学研究科マテリアル理工学専攻の教授になられ現在に至っています。また、現在、日本鉄鋼協会および日本金属学会の東海支部長をも務めておられ、非常にお忙しい日々を過ごされる中、関東支部総会に足を運んでいただきました。

講演は、先生の履歴、5号館前に建設されたNICで行われる名古屋COI拠点ビジョンの話しから始まり、金属学科・鉄鋼工学科を始めとして組織体制が変革されてきており、既に公表されている来年度（平成29年度）に工学部・工学研究科の改組が行われるという話しに及びました。現在のマテリアル理工学専攻の講座がマテリアル工学科と物理工学科（2講座のみ移動）の講座になるようです。学生になる高校生が学科名から具体的イメージが湧くようにしたとのことでした。

続いて、村田先生が行われてきた研究の話しがありました。先生は、構造・機能性材料を対象に研究されてきており、特にNi基超合金について数多くの研究成果・業績を残され、特許も幾つか保有されています。

金属材料は作り込んだ当時は高エネルギー状態であり、時間とともに低エネルギー状態になっていくという共通した性質がある、一般の材料は人間の寿命より長いが、耐熱材料は人間の寿命より短いという難しさがあるという話は材料の特徴を端的、的確に表し非常にわかりやすい説明だったと思います。具体的な話しとしては、fcc構造の単結晶Ni基超合金に生成する $\gamma$ 相、 $\gamma'$ 相が熱処理で四角状に並ぶラフト組織になるが、クリープ条件により波々状態になる現象をフェーズフィールド法というミクロ組織に関するシミュレーションで要因を解明しようとしているとのことでした。現時点では、ラス構造変化の主要因は原子拡散と原子拡散を支配する熱力学的安定性であり、ナノ・ミクロ組織の研究が重要であるとの話しで講演が終了しました。

今年の支部総会は、多忙な日常業務をこなしながらも黒岩事務局長が夏頃から鋭意参加者集めを行っていただき、昨年より参加者が1名増になりました。今回日程が合わず参加できない方が多くおられましたので、参加者の方には開催月を含め、総会中に意見を伺いましたが、1年前から日程が組まれれば参加に支障はないという意見が大勢を占めましたので来年も同様な日程を設定させていただきました（2017年11月12日（日））。ただ、今回、各参加者からの報告で後半の方の時間がなくなり、ご迷惑をかけた事から来年から開催時間を30分間延長し、11:00～14:30とすることにしました。また、さらに参加者を増やすべく、総会幹事の方で方法を検討する事と致します。皆様方もご意見があれば遠慮なく具申していただければと思います。今年も先生を囲んで人生経験豊富な色々な方々とともに歓談の時間を過ごすことができ、予定した時間があっという間に終わった感がありました。写真撮影を最後に行い、来年の再開を祈念して閉会となりました。

（共晶会関東支部長 柴山卓眞）





以上